

西海「環境美化を考える会」の活動報告

西海市大島町で活動している「環境美化を考える会」(田口昭子代表)から活動報告が届きました。

今から23年前に、代表の田口さんが地域の環境美化と健康のためにと始めた空き缶拾いが活動のスタートだったそうです。年々協力して下さる方が増え、平成11年の大島大橋開通をきっかけに「環境美化を考える会」を発足しました。今では、会員数114名になり、清掃・美化活動はもちろん、地域の小学校や中学校と連携した環境教育、地球温暖化防止活動など、年間100回以上の活動を展開しています。大島の皆さんの活動の一部をご紹介します。

◆清掃・美化活動



【大島の玄関口「大島大橋」はいつもキレイにしています！】



【汗を流した後のお弁当は格別！皆で食べるお弁当も楽しみの一つです。】



【大島には色とりどりの美しい風景がたくさんあります。これも皆さんの地道な活動の賜です。】



【まちなかも花がいっぱいです】

◆「ほかし」を利用した生ゴミ堆肥づくり

ダイオキシン問題で町内の焼却炉が閉鎖寸前になったときに、「生ゴミリサイクルに取り組んで欲しい」という声がかかり、生ゴミの堆肥化を進めるようになりました。

はじめは一軒一軒家庭を回って生ゴミを回収していましたが、活動が口コミで広がり、今では大島造船所・学校給食センター等からも生ゴミが収集され、毎日500キロほどの生ゴミが集まっています。

また、はじめは手作業で生ゴミとほかしを混ぜていましたが、大島造船所より攪拌機をプレゼントして頂き、作業がスピードアップしています。

◆生ゴミ堆肥で野菜を栽培

せっかく作った生ゴミ堆肥も活用しなければ意味がありません。「野菜を作ろう」ということになりましたが、団地住まいが多く、野菜を栽培する土地がありません。そこで、廃校となった小学校のグラウンドを無償で借り、「環境美化を考える会」のメンバーで開墾して、地元の幼稚園、小学校、中学校の子どもたちと一緒に野菜を栽培しています。

また、小学校や中学校では、この畑で収穫した野菜で料理やおやつも作っています。

【子どもたちの笑顔や喜びの音が、道守活動の励みになっています。】



【小学校・中学校の子どもたちと一緒に作業しています。】



【15年間も放置されたグラウンドの開墾は大変でした。】

